

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	3単位	学年(コース)	1年次 必履修科目
使用教科書	Bloom English Communication Ⅰ（開隆堂）				
副教材等	Bloom English Communication Ⅰ Workbook（開隆堂） 英単語ターゲット1200（旺文社） ターゲット1200 workbook 1（旺文社） MY WAY マイウェイ 総合英語 第2版（三省堂）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	下越地域唯一の総合学科とした高等学校として、生徒の多様なニーズに対応した教育活動を行います。 ①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動およびこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
--

3 指導の重点

日常的な話題および社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 (1) 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 (2) 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 (3) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 (4) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を使って、話を聞こうとしたり、読もうとしたり、伝え合おうとしたり、話そうとしたりしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	評価の観点の趣旨を踏まえ、以下の点で評価します。 ・長期休業後の考査、定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス テスト	評価の観点の趣旨を踏まえ、以下の点で評価します。 ・授業への取り組み ・長期休業後の考査、定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス テスト ・ワークシート等の提出物の内容	評価の観点の趣旨を踏まえ、以下の点で評価します。 ・授業への取り組み ・小テスト等への取り組み ・ワークシート等の提出物の内容 ・振り返りシート等の内容
	内容のまとまりごとに、次の各観点で評価します。 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

	月	指導単元	指導内容	時間 (h)	評価・評価方法 評価のポイント
第1考査	4	Get Ready 1～4 Lesson 1 The Amazing Scenery	・品詞／文型／発音 ・動詞の現在形・過去形／進行形／未来表現 ・海外と日本の美しい景観	8	授業の取組 パフォーマンステスト 考査 提出物
	5	Lesson 2 The History of Chocolate	・助動詞 ・好きな食べ物や健康によい食品	10	
第2考査	6	Lesson 3 A Dog Trainer	・助動詞 ・これまでの経験や将来の展望	10	授業の取組 パフォーマンステスト 考査 提出物
	7	Lesson 4 Wonder of Plants	・受動態／助動詞＋受動態／比較 ・植物の未知の能力	11	
第3考査	9	Lesson 5 Fashion for Peace	・動名詞／不定詞 ・ファッションと社会の関係	11	授業の取組 パフォーマンステスト 考査 提出物
	10	Lesson 6 Serendipity	・現在分詞による修飾／知覚動詞／分詞構文 ・身近に偶然おとずれた機会	10	
第4考査	11	Lesson 7 The Charm of Vermeer's	・関係代名詞（制限用法・非制限用法） ・フェルメールの作品や美術鑑賞	11	授業の取組 パフォーマンステスト 考査 提出物
	12	Lesson 8 The Mystery of Curling	・関係代名詞 what／関係副詞 ・探求してみたいこと	10	
第5考査	1	Lesson 9 Is Santa Real?	・仮定法 ・身近なことで疑問に思うこと	9	授業の取組 パフォーマンステスト 考査 提出物
	2	Lessons 10	・接続詞	9	
	3	Purifying Powder	・絵本の内容やおもしろかった点	6	

計 105 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 30 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 45 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

7 課題・提出物等

- ・週に1回単語テストがあります。範囲表にしたがって各自で語彙の定着をはかっていきましょう。
- ・朝学習にしっかり取り組んでいくことで、初見の英文に対応する力が伸びていきます。
- ・普段の授業や考査を振り返り、自分で課題を見つけて取り組むことによって、卒業後にも生きる学習に発展していきます。

8 担当者からの一言

この科目は中学校で勉強した学習内容を復習しながら、高校で新たに学ぶ学習内容をしっかりと身につけることを目標としています。また、来年度以降の「英語コミュニケーションⅡ」や「論理・表現Ⅰ」を学ぶための基礎になります。毎週の単語テストや授業時の活動を通じて英語を使う力を養います。一年間この科目に真剣に取り組んで、自分自身の成長を感じ、主体的に英語を学んでいく姿勢を身につけていってください。英検等の外部テストを積極的に受けて、客観的な実力を知ることも勧めます。